

令和 6 年第 1 回高森町定例会一般質問

令和 6 年 3 月 11 日 午前 9 時 開議

会場：高森町役場 議場

順序	氏名	質問事項
1	北沢 幸保	I 山吹下河原の流域治水について
2	小平 一博	I 町長に 2 期目を問う II 町の観光を考える
3	大島 正光	I 能登半島地震の教訓を活かすために
4	木下 啓爾	I 令和 6・7 年度の「男女共同参画に向けての施策」について
5	佐々木 昌	I 地域再生計画と多目的運動場の活用について
6	原 敏明	I 法面の草刈りを考える II まるごと収穫祭
7	本島 未来	I 令和の日本型学校教育
8	三浦 喜久夫	I 認知症の力を支える町づくりに向けて

令和 6 年 2 月 22 日

高森町議会議長 様

北 沢 幸 保 印

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について質問したいので通告します

質問事項	質問要旨及び 1 回目の質問趣旨	2 回目以降の質問趣旨
I 山吹下河原の流域治水について	(1) 国は、H21.7 に「天竜川水系河川整備計画」を策定し、当町では、MIZBE ステーションから竜神大橋方面に向けて天竜川の護岸整備が進められている。そして、護岸の高さは戦後最大規模相当となる S58.9 の洪水・H18.7 の洪水と同規模の洪水を、計画高水位以下で安全に流下させることを目的に築堤を進めている。その結果、護岸の計画高は、現在の堤防高から約 1.5m 高くなるとの説明をいただいた。 ところで、S58・H18 年の洪水時の豪雨はどのような降り方であり、山吹の天竜川の水位はどのくらいまで上がったのか。 建設課長	①天竜川の河床も上昇していると思われるが、山吹地域の河床上昇について国の調査結果を伺う。 建設課長 ②護岸完成後、MIZBE ステーションと消防署予定地の境界付近の、天竜川護岸の標高は 439.42m との資料をいただいた。それでは、上平川の吐口の標高はどのくらいか。また、その差は何 m か。 建設課長 ③天竜川が増水した場合、天竜川の護岸からの越水が始まる前に、上平川に逆流が始まる構造となっている。この逆流の程度は、MIZBE ステーションをつくる前と、できた後ではどの様になるのか。 建設課長 ④国や県は、上平川への逆流による内水氾濫を防ぐために、どのような対策を立てているのか。また町からは、どのような対策を要望しているのか。 建設課長
	(2) 国道より東側の山吹下河原の用排水路は MIZBE ステーションの造成のため国道の西側に迂回させ、上平川に合流して「新上平川」となり、田沢川に注いでいる。 以前の上平川の流下能力と新上平川の流下能力を伺う。 建設課長	①町から示された資料によると、新上平川は、10 年確立の降雨を想定して整備された。 その流下能力は、どの程度の時間降雨が何時間続く流下量に耐えられるのか。 建設課長 ②現在、山吹下河原未来ビジョンの策定が進められている。今後、開発が進めば、この地域の保水能力は低下し、新上平川の流下量が増加することは容易に想定できる。 なぜ 10 年確立ではなく、より流下能力の大きな川にしなかったの

		か。山吹区の5本の川が集まるこの地域において、どのように「流域治水」を構築していくのか。 建設課長 ③サッカー場は、許容放流量を決定し、2ヶ所に合計2,648 m³の調整池を設けて、雨水が直ちに新上平川に流れ込まないようにしている。 許容放流量はいかほどで、この調整池は、どの程度の時間降雨が何時間続く雨量を貯水することができるのか。 建設課長 ①新上平川は、天竜川の増水による逆流の危険性と、10年確立という低流下能力の2つの弱点をもった川である。山吹下河原一帯の居住者・福祉施設・大型商業施設・買い物客などに避難情報を的確に発するため、新上平川の田沢川への合流地点に水位計や監視カメラを設置するべきではないか。 総務課長 ②新上平川は2つの弱点をもった脆弱な川である。ハザードマップに新上平川の越水による浸水地図を示して、下河原一帯の防災意識を喚起するべきではないか。 総務課長 ③MIZBEステーションは、災害時に避難場所として利用すると説明している。最初に避難しなければならない水害は新上平川流域で起こることが想定される。豪雨時に、天竜川の濁流が迫り、轟音が響くMIZBEステーションに誰を避難させる計画か。 総務課長 ④1月に地元選出衆議院議員に、「天竜川山吹堤防護岸の整備促進」「山吹地区 MIZBE ステーションの整備促進」の要望活動を行った。国会議員に要望活動をするとしな いとの成果の差は、どこで（何で）判断できるのか。DXの時代では、もっと効率的・効果的な方法があるのではないか。 町長
	(3) エスバードに開校した、信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座は、自然環境と社会環境の調和を総合的に捉えてデザインする専門講座である。7月頃に山吹下河原のデザインが、同講座から示されるとお聞きした。 この機会に、山吹下河原の流域治水を構築するために、専門的知見を仰ぐべきではないか。 建設課長	

令和6年2月22日

高森町議会議員 様

高森町議会議員 小平一博 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問事項	質問要旨及び 1回目の質問趣旨	2回目以降の質問趣旨
I 町長に2期目を問う	(1)前半の町政はどう評価する のか。 町長	①今後2年間の町政をどのよう に考えているのか。 町長
II 町の観光を考える	(1)観光協会の再編について町 づくりとの関係は。 町長	①現在町内の観光をどのよう に捉えているのか。 産業課長 ②今後の観光協会の体制、事業 内容、構想は。 副町長 ③当町の観光スポット不動滝 をどのように輝かしていく のか。 産業課長 ④今後リニア開通により高森 観光に対する期待は大きい、 不動滝を中心に寺社、観光 園、花火大会、ホテルなど観 光スポットの充実整備を今 から行う必要があると思う が。 産業課長

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問事項	質問要旨及び 1回目の質問趣旨	2回目以降の質問趣旨
I 能登半島地震の教訓を 活かすために	新年早々の痛ましい災害が発生した。 能登半島地震で、激しい揺れにより家屋が倒壊、火災、津波も発生、土砂崩れなどで多くの集落が孤立、断水・停電の復旧も時間を要している。 この30年間に国内で震度7を記録した地震は7回を数えている。 特に「大震災」と呼ばれる災害は ①1995年（平成7年） 「阪神・淡路大震災」（M7.3） 犠牲者 約6,400人 ②2011年（平成23年） 「東日本大震災」（M9.0） 犠牲者 約21,800人であり、今回の「能登半島地震」はマグニチュード7.6と大地震に匹敵する地震であった。 （1）長野県内も活断層が広く分布しており、同様の被害の発生が懸念されている。 糸魚川-静岡構造線断層帯、南海トラフ巨大地震、伊那谷断層帯など甚大な被害の発生が予見されている。 今後、自然の猛威と、どう向き合っていくのか。 想定（M7）を超える地震に備えた防災・減災対策について、最初に（町長に）お聞きする。 町長	①能登半島地震では、重い瓦屋根の古い家は倒壊、新しい家は残っていた、と報じている。 震度6強以上でも倒壊しないとされる新耐震基準ができた1981年（昭和56年）より後の建築かどうかで、明暗が分かれ、倒壊したほとんどが旧基準時代の建物であった。 町内の建物で、新耐震基準以前の建物は、どのくらいあるか、把握しているか。 また、町の全体の耐震化率は。また、町内の公設建築物の耐震化率は100%か。建設課長 総務課長 ②倒壊しない建物で暮らすことが重要である。 町でも当初予算で「住宅改善費」の「とうかい防止対策事業」で、住宅耐震改修補助金を計上し対応しているが、補助金以上に補修費がかかり、また、居住している方の高齢化などで、なかなか進まない現状かと推測される。 今回の震災を機に、長野県も補助額上限を100万円から150万円に拡充する関係費用を、新年度予算に盛ったと伺った。 町でも、現在の負担割合1/4に加え、独自の耐震改修等補助金を要望したいが如何か。建設課長 ③能登半島地震があった今、住宅耐震改修補助金の活用をもっとPRしては如何か。 （毎年利用が1～3件でPR不足と感じる。）建設課長

		④能登半島地震では、石川、新潟両県で約5万人が避難した。着の身、着のまま避難した人が多く、毛布などの寒さ対策、食糧（非常食）や飲料水の確保、カセットコンロ、生理用品など、また、体調に不安のある人、傷害のある人など支援や助力が必要な方への対応など、報道等で伺い知った。 緊急災害時の町の防災備蓄品について現在の状況を伺う。 （公助）（特に冬の避難時） 総務課長 ⑤各区でも防災備蓄をしていると思うが、各区の備蓄状況の把握は。（共助） 総務課長 ⑥大きな災害が発生した時に対応するため、各自、各家庭で食糧備蓄など防災対策を心がけておく必要がある （自助）と思うが町民への周知は。 総務課長 ⑦食糧など物流業者やスーパー等と災害時の支援協定を結び、避難時の環境向上を図っている市町もある。 町の災害時に、このような民間との支援協定の状況は。 総務課長
--	--	--

一般質問通告

次の事項について質問したいので通告します

質問事項	質問要旨及び 1回目の質問趣旨	2回目以降の質問趣旨
I 令和6・7年度の「男女共同参画に向けての施策」について	(1) 「高森町男女共同参画計画（令和3年～7年度）」の中間点を過ぎた。今までの施策をどのように評価しているのか。 町長 (2) 計画の「3つの基本目標」（①意識づくり②環境づくり③安心・安全な社会づくり）の残り2年の課題は？ 総務課長 (3) 「女性が働きやすい高森町」を作るための取り組みを加速させたい。今後の施策については？ 産業課長	① 「3、施策の展開」に記載されている「1、各種審議会への女性の登用促進」について、令和2年～5年度までの進捗状況は。 総務課長 ② 計画推進のための「同推進委員会」はこの3年間に何度開催されているか。 総務課長 ③ 計画に「男女共同参画社会を目指すための施策を総合的・計画的に推進していくために」とあるが、全庁的な取り組みについて、計画の役場内への周知や各課の計画作成の実態は。 総務課長 ① 「①意識づくり」では、意識を啓発・教育・学習の推進が具体的目標に挙げられている。その進捗状況は。 総務課長 ② 「女性の意見を取り入れた職場づくり」に役場が率先して取り組むことは「①意識づくり」にもなる。「女性職員の意見」を反映するシステムを再構築する必要があるのではないかと。 総務課長 ③ 福祉センターの建替えにかかわり「女性に配慮する施設にする」ことを提案するのはいかがでしょうか。 総務課長 ④ 「男女間の暴力や児童虐待防止」や「セクハラ・パワハラ防止」のための「意識啓発」の具体は。 総務課長 ① 町内企業の職場環境を整えるために「商工会との連携」や「事業者対象の講演・学習会」を提案するのはいかがでしょうか。 産業課長

高森町議会議長 様

高森町議会議員 佐々木 昌 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します。(なお併せて教育委員会から示された別紙いう「地域再生計画」を質問作成資料としていることを議長に報告します)

質問事項	質問要旨及び 1 回目の質問趣旨	2 回目以降の質問趣旨
I 地域再生計画と多目的運動場の活用について	(1) 高森町スポーツコミッション (高森町 SC) の設立時期と構成団体について この地域再生計画の目標にあるスポーツコミッションの構成団体については予定として体育協会、スポーツ推進員、サッカー協会等の団体、スポーツ少年団、商工会、観光協会、かわまちづくり協議会、周辺商業施設、宿泊業者、近隣大学、小中学校、高校、プロスポーツチーム、町関係課、最後に公民館ほかと列挙しているが、設立時期及び中心的な構成団体はどうか問う。 教育委員会事務局長	①指定管理者の予定は松本山雅 SC 南信となっている。一方、地域再生計画では事業実施主体は高森町 SC としている。実際の運営はどのように行うのか。 教育委員会事務局長 ②地域再生計画には、施設利用種目としてあげられているのは、アウトドアスポーツ、サッカー、フットサル、テニス、ニュースポーツ、ウォーキング、ジョギングなどがあがっている。高森町の社会体育の歴史の中でとりわけ公民館がニュースポーツとして普及成功した、ラージ卓球、ソフトバレーボール、スローピッチソフトボール、ペタンクなどもある。公民館活動が担ってきた、スポーツや健康づくり、地域のコミュニティー促進も併せてどのように発展させていくのか問う。 教育委員会事務局長 ③町内の公的な施設である町民体育館はじめ学校開放条例による中学校の体育館・南北小学校の体育館の開放利用があるが、多目的運動場の活用との関連を問う。併せて多目的運動場の使用料金設定について町民と町外者とではどの様に設定するのか問う。 教育委員会事務局長 ④この計画の中の「スポーツ×健康」において、障がい者や高齢者が、活用し易い施設にするよう考えるべきではないか。更に「スポーツ×観光」「スポーツ×産業」の具体的なイベントや企画を、どのように考えているのか問う。 教育委員会事務局長

	(2) e スポーツは地域再生計画には上がっていなかった。誰がどのような理由で提案してきたのか。 教育委員会事務局長	⑤多目的運動場（クラブハウス）の開設について、飯田市や北部4町村などの受け止めはどうか。 教育委員会事務局長 ①多目的運動場へはe スポーツゲーム機は延べ何台設置するのか。設置場所によってはその都度設置撤去等の費用の予算化をどの程度考えているのか。 教育委員会事務局長 ②e スポーツについて費用対効果、e スポーツに対する町民の声はどうか。また町民に推奨する意義についてどう考えるか。 教育委員会事務局長 ③シルバー世代の手先から脳の活性化、居場所のない子供たちが救われているなどの声もあるがe スポーツを推奨して、町民福祉の向上を図っている自治体の例は。 教育委員会事務局長 ④e スポーツがもたらす、子どもたちや町民への健康上や経済的な、デメリットへの対策が必要ではないか。e スポーツについてのこれまでの町教育委員会の考えでは、e スポーツはスポーツでなく、スポーツ拠点の利用促進のために進めるとなっている。中学校の体育指導要領をみても、e スポーツはスポーツとしては出てこない段階である。またe スポーツを普及している社会の中では、ドライアイや腱鞘炎、精神障害などの健康に対するデメリットも報告されている現実もある。行政的にe スポーツを取り入れるという方針をとる以上、メリットとともにデメリットにたいする対応策についても家庭任せやプレイヤー任せでなく行政の側からの健康への指導的な対策が必要と考えるがどうか。 教育委員会事務局長
	(3) 多目的運動場の条例の設置日程を問う 教育委員会事務局長	①高森町スポーツコミッションの設置日程と検討結果は条例に逐次反映されるのか。 教育委員会事務局長

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問事項	質問要旨及び 1 回目の質問趣旨	2 回目以降の質問趣旨
I 法面の草刈りを考える	(1) 近年高齢化にともない道路や圃場の法面の維持管理が大きな負担となってきた。幹線道路の土手草刈りは業者委託されているが、作業の安全を考えて、法面の形状や勾配を考える必要がある。道路設計時に、草刈りの方法に合わせ、機械ならそれにあった勾配、刈払機なら、法面中段小段などの足場確保を盛り込むまたは、被覆植物の造成などを考えているか。 建設課長	① 既存の道路においても、落差 2 m を超える法面や、壁の上の法先に、小段を造り草刈り作業の安全を図る必要はないか。 建設課長 ② 農家の高齢化が進み、耕作放棄も進行している。農地利用の地域計画の実現に向けた除草作業にとっても、畦畔被覆植物の利用や畦畔法面の改修などの研究する場を設けたり、援助したりすることが求められていると思うがどうか。 産業課長
II まるごと収穫祭	(1) 令和 6 年度に開催する「高森まるごと収穫祭」の実行委員を募集した。今年の収穫祭は、この公募の実行委員だけで、実行委員会を構成するのか。出店者の代表も参加を求めるのか。 総務課長	① 昨年 10 月の開催について、前年の出店者の皆さんに一月早めることについて、了解を得てあったのか。 総務課長 ② 今年の開催月については、どの様に決めていくのか。 総務課長

令和6年2月22日

高森町議会議長 様

高森町議会議員 本島 未来 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問事項	質問要旨及び 1回目の質問趣旨	2回目以降の質問趣旨
I 令和の日本型学校教育	(1) 小学校高学年 5.6 年生で導入された教科担任制の趣旨目的について伺う。 教育長	① 教科担任制導入までの南北小学校の取り組みは？ 教育長 ② 教科担任制実施状況は？ 教育長 ③ 学級担任制から教科担任制移行への成果と課題、教職員や児童生徒、保護者の反応は？ 教育長 ④ 小中学校間の円滑な接続に係る取り組み状況は？ 教育長 ⑤ 教科担任制の課題対策も含め今後どのように進めていくのか？ 教育長 ⑥ Society 5.0 の教育、ダイバーシティ&インクルージョン自由進度学習等これらにも対応するための小中学校の具体的な施策は？ 教育長

令和 6 年 2 月 22 日

高森町議会議員 様

高森町議会議員 三浦 喜久夫 印

一 般 質 問 通 告

次の事項について質問したいので通告します

質問事項	質問要旨及び 1 回目の質問趣旨	2 回目以降の質問趣旨
I 認知症の方を支える町づくりに向けて	(1) 高齢者福祉計画・第 9 期介護保険計画（案）第 6 章、第 1 節、5・認知症の人や家族にやさしい地域づくりでは、「共生」と「予防」を両輪として推進していくとある。共生と予防について、もう少し詳細な説明をお願いしたい。 健康福祉課長	① 県内 8 割の自治体で作成されている、認知症ケアパスについて説明を願う。 健康福祉課長 ② 認知症ケアパスを今期の計画で作成するとあるが、作成行程と町民への周知や活用を伺う。 健康福祉課長 ③ 認知症初期集中支援チームが厚生病院に配置されている。支援の内容、どう利用できるのか伺う。 健康福祉課長 ④ 初期集中支援チームの近年の利用実績は。 健康福祉課長 ⑤ 認知症カフェを実施とある。構想などできていれば、設立の費用・場所・運用母体など伺う。 健康福祉課長 ⑥ 認知症サポーターについて、今後毎年 100 人程養成していく計画だが対象者は。 健康福祉課長 ⑦ 成人へのサポーター養成講座の開催について具体は。 健康福祉課長 ⑧ サポーター養成講座修了者が、より深い知識習得また実際の活動につなげるための「ステップアップ講座」開催の計画はあるか。 健康福祉課長 ⑨ 認知症の人や家族にやさしい地域づくりについて、町長の見解は。 町長